

有明工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本事情	
科目基礎情報							
科目番号	0031			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	前期:1		
教科書/教材	必要に応じて担当教員が指示する						
担当教員	近藤 恵美						
到達目標							
1. 日本での生活、日本の社会、国際社会と日本について理解が主体的にできる 2. 高専での生活において感じている疑問点、不自由に感じている点に関して、その解決策を探ることで日本事情について深く理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本での生活、日本の社会、国際社会と日本について理解が主体的にできる			日本での生活、日本の社会、国際社会と日本について理解ができる		日本での生活、日本の社会、国際社会と日本について理解ができない	
評価項目2	高専での生活において感じている疑問点、不自由に感じている点に関して、その解決策を探ることで日本事情について深く理解できる			高専での生活において感じている疑問点、不自由に感じている点に関して、その解決策を探ることで日本事情について理解できる		高専での生活において感じている疑問点、不自由に感じている点に関して、その解決策を探ることで日本事情について理解できない	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本に留学した学生が、日本には出身国と異なる独特の風習や文化があり、これらについて、その知識を得ることは、日本で生活し、学習し、技術を学ぶうえで非常に重要である。 本科目の目標は、日本に来て間もない留学生が、出身国にはない日本独特の風習や文化があることを知ってもらうことで、日本における生活、学習、技術習得、研究をスムーズに行えることである。 特に、日本での生活、日本の社会、国際社会と日本について理解することに重点を置く。また、高専での生活において感じている疑問点、不自由に感じている点に関しては、その解決策を探ることで日本事情について深く理解することを目標とする。 以上のように、日本についての理解を深め、日本語に慣れ、快適な日本での生活、学習、技術習得、研究の環境を知識面からサポートできる。本科目は、同時に開講される「日本語」と平行して行い、日本語の習得および日本事情の理解が要求される科目である。また、日本語でのコミュニケーションを原則とし、日本語に慣れることも重要な課題である。						
授業の進め方・方法	授業のレポート（日誌）と事業でのやり取りに基づき、内容の理解度、取組姿勢で評価する。						
注意点	身の回りの日本に関する新しい情報を、新聞・雑誌などから取り入れるため、興味ある時事に関しては調査・準備ができること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	日本での生活や日本について		大牟田（福岡）・荒尾（熊本）での生活について認識できること		
		2週	日本での生活や日本について		大牟田（福岡）・荒尾（熊本）での生活について認識できること		
		3週	日本での生活や日本について		日本での生活について認識できること		
		4週	日本での生活や日本について		日本での生活について認識できること		
		5週	日本での生活や日本について		日本の衣について認識できること		
		6週	日本での生活や日本について		日本の食について認識できること		
		7週	日本での生活や日本について		日本の住について認識できること		
		8週	日本での生活や日本について		日本の住について認識できること		
	2ndQ	9週	日本での生活や日本について		日本の気候について認識できること		
		10週	日本での生活や日本について		日本の地理について認識できること		
		11週	日本での生活や日本について		日本の文化について認識できること		
		12週	日本での生活や日本について		日本の文化について認識できること		
		13週	日本での生活や日本について		日本の歴史について認識できること		
		14週	日本での生活や日本について		日本の風習について認識できること		
		15週	日本での生活や日本について		日本の風習について認識できること		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	20	80	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	80	0	80
分野横断的能力	0	0	0	20	0	0	20